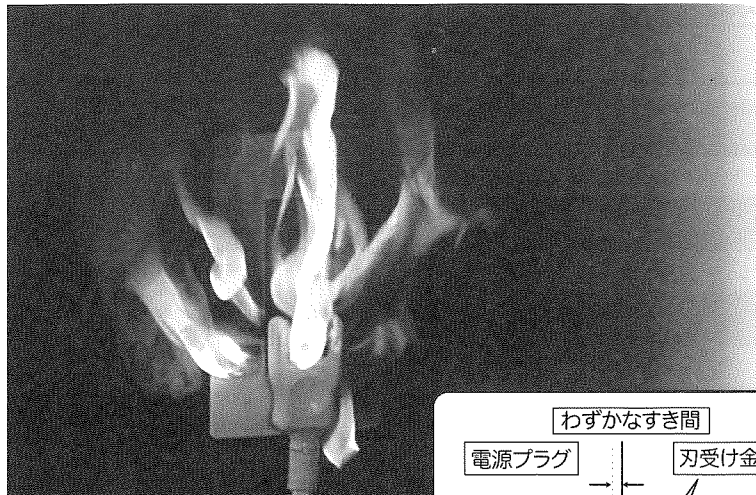
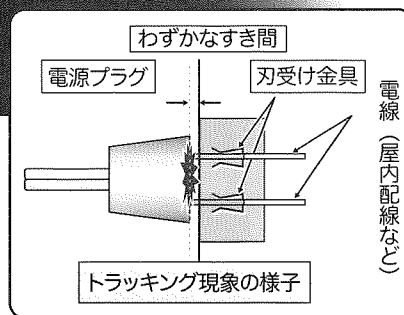


# 配線器具の火災 5年で倍増

— 背景に「テレワークの普及が…」 —



トラッキング現象による事故の再現画像



トラッキング現象の仕組み

延長コードなどの配線器具による火災が5年で約2倍になっているとして、製品評価技術基盤機構(NITE)が注意を呼びかけています。テレワークの普及で配線器具を使う機会が増えたことが背景にあるのではないかと推定されています。

2019年からの5年間にNITEへ通知があった配線器具の火災事故は126件。23年は28件と19年の1・9倍でした。126件のうち50件は使い方や設置状況が関係する事故と見られ、残りは製品不良が見られるとしています。電気器具の使い方や設置状況が関係する事故には大きく分けて次の三つの要因があります。

- ① 外から強い力が加わったことによる電源プラグの接触不良やコードの断線。
- ② コンセントや電源プラグのすき間に付いたホコリと水分によって異常発熱から発火に至る「トラッキング現象」。
- ③ 配線器具に接続可能な最大電力を超える電気製品の接続、等。

NITEは、電源プラグやコンセントの差し込み口にホコリがたまらないよう掃除し、コードを引っ張ったり、机や椅子の脚で踏んだりして無理な力を加えないことが火災防止のポイントだといいます。変形した電源プラグは使わないことも大切といいます。

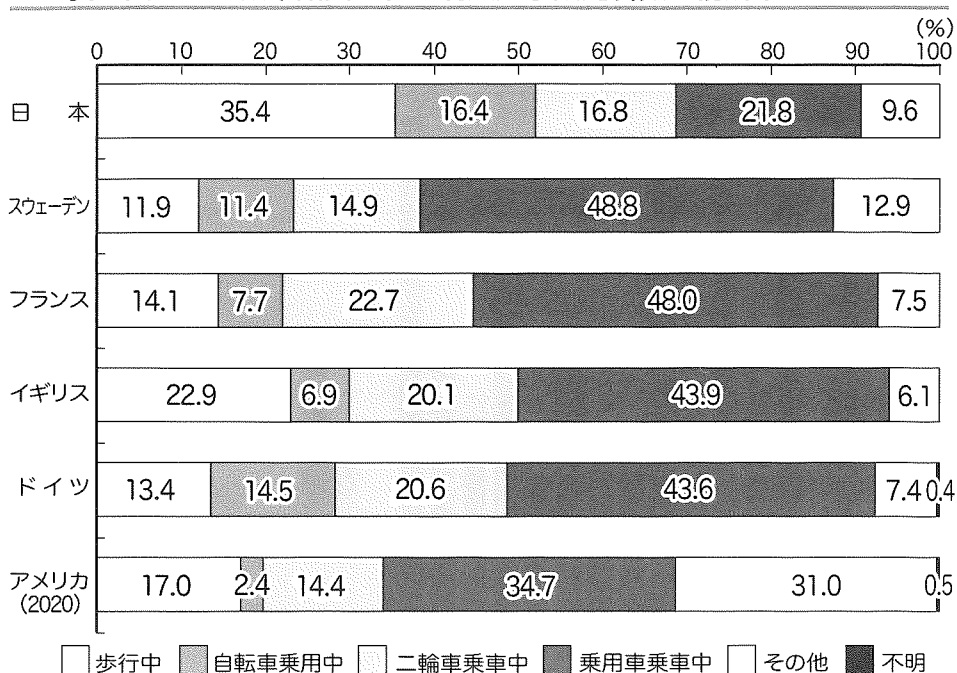
職場や家庭の配線器具等の点検をしてみましよう。

(資料・引用「朝日」24・02・07ほか)

# 世界の交通事故死 毎日3200人超

—世界人口の7300人に1人（日本は45000人に1人）—

我が国と主な欧米諸国の状態別交通事故死者数の構成率（2021年）



世界の交通事故死者数は2010～21年に年間5%ずつ減少した半面、毎日3200人以上（世界の人口当たり7300人に1人、日本は4万5千人に1人）が亡くなり、5～29歳の

子どもや若者の死因の1位を占めていることを世界保健機関（WHO）が発表しています。発表によると、10～21年に国連加盟国のうち108カ国で交通事故死が減少。10カ国では50%超、53カ国が30～50%減らすことに成功しましたが、ただ、死亡事故の9割は低・中所得国で発生しており、世界の自動車のわずか1%の保有台数しかない低所得国の方が、高所得国より死亡リスクが3倍と高くなっています。

自動車に乗った人の死亡は全体の30%でわずかに減少した一方、歩行者が23%、オートバイなどの二輪車・三輪車が21%、自転車6%など、いわゆる交通弱者が53%を占め、死亡リスクの上昇に直面しています。

WHOが交通事故死防止で推奨しているのは「スピード違反の防止」「飲酒運転の防止」「ヘルメット着用」「シートベルト装着」「チャイルドシートの使用」を徹底すると同時に、自動ブレーキなど自動車の安全装備の法制化、自転車専用レーンの整備などを挙げています。

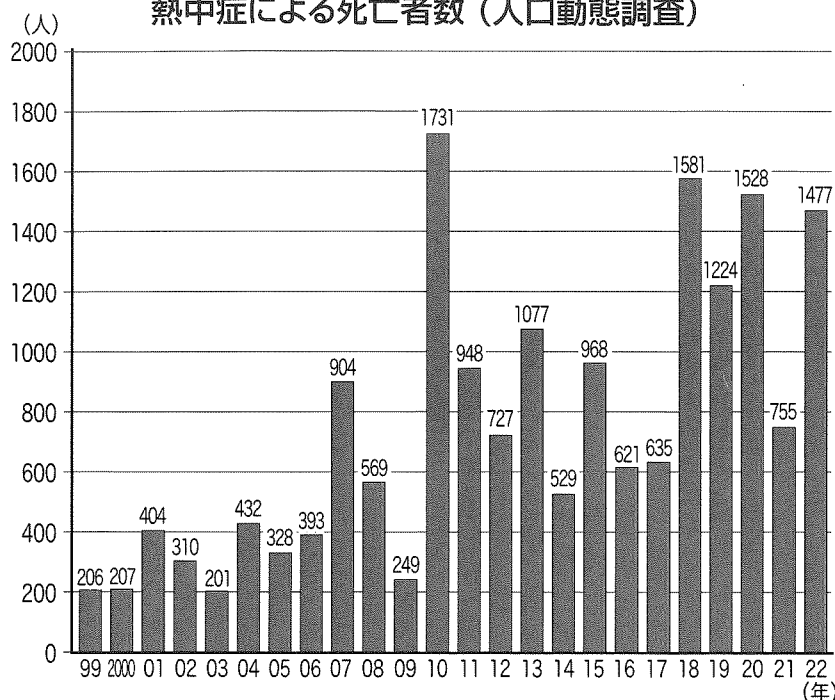
（資料・引用「東京」24・01・17）

## 安全衛生トピックス

## 4月24日から『熱中症特別警戒』(環境省)

— 今年から「熱中症特別警戒アラート」を新設 —

熱中症による死亡者数 (人口動態調査)



地球温暖化の影響か、近年、高温による「熱中症」で亡くなる人が増加しています。今年の夏も高温が予測されており、注意が必要です。環境省では都道府県の全域で「暑さ指数」が35以上になるとの予測を受けて発表する「熱中症特別警戒情報」の運用指針で、熱中症特別警戒の運用期間を4月の第4水曜日から10月の第

4水曜日としました。

今年4月24日から10月23日まで、一般名称は「熱中症特別警戒アラート」とし、アラート発表時には環境省が緊急記者会見などで「過去に例のない危険な暑さとなる」と呼びかけるとしています。

新設の特別警戒情報は2023年4月成立の改正気候変動適応法で新設され、暑さ指数が33以上になるとの予想で発表する現行の「熱中症警戒アラート」の上位に位置付けられます。

暑さ指数は、気温や湿度、日差しの強さから算出し、熱中症との相関性が高いとされています。運用指針によると、特別警戒情報は35以上の発表を原則としつつ、災害などによる大規模断水や停電発生時を念頭に、35に至らなくても発表するとしています。

テレビやニュースサイトで熱中症の警戒エリアを地図上で示す際には、特別警戒アラートは新たに「レベル5相当で黒」とし、現行のレベル4の「紫」、レベル3の「赤」を推奨するとしています。(資料・詳細「毎日」24・01・19ほか)

# 腕時計や指輪で安全と健康の見守り

## 心拍数や血圧等で過労や熱中症の事故防止

近年、多くの職場でIT化や機械化、合理化が進んで「単独作業」が増加してきています。その単独作業で、作業者が体調の異変や熱中症、ケガなどで倒れたりしても、同僚や監督者の気が付きが遅くなったりして重篤な状態になる事例が多くなっています。

このような事態に対応するため、作業中の健康を見守り、異常を通報するシステムとして腕



時計式や指輪式のセンサーを各自が常時装着するシステムが導入されています。

工場や建設現場で、端末から脈拍を読み取りAIが温度などと共に分析し、作業中の人がめまいなどの熱中症の初期症状を自覚する前に予兆を捉えて、音と振動、画面表示で警告を出すなどのシステムが開発されています。

疲労や睡眠不足などで注意力が欠けたまま作業をすると、転倒や作業ミスを起こしかねません。これらのシステムは、直近の体調を個別に把握した上で、通常より注意力が低いと判断すると注意を喚起したり、転落が起きたら周囲に位置を知らせて救助に役立てる機能を持ったものもあります。

常に着けていれば毎日の歩数や睡眠の質も分かり、健康への意識が高まるとしています。このシステムを導入することにより、各人が安全・健康に主体的に取り組むようになって、健康な人をより健康にし、生産性向上や組織活性化につながるとしています。

(引用・詳細「西日本」24・01・16ほか)

# 『荷待ち2時間以内』日建連が自主計画

— 国交省「軽貨物運送」も規制強化へ —



日本建設業連合会は、本年4月から施行される「トラック運転手等の長時間労働の規制」に対応するため「物流の適正化・生産性向上に向けた自主行動計画」を策定しました。

発荷主・着荷主に共通する取組事項として、荷待ち、荷役作業時間を把握することや、荷待ち・荷役作業時間を2時間以内にするなど

を掲げています。

2時間以内ルールでは、物流事業者に対して、長時間の荷待ちや、運送契約にない、運転等以外の荷役作業をさせないことを明記しています。

その上で、荷待ち、荷役作業などに係る時間を2時間以内にするとし、2時間以内に収まっていなくてもさらなる時間短縮に努めることを指示しています。

連合会ではさらに、物流の適正化・生産性向上に向けた取組みを事業者内で総合的に実施するため、物流業務を統括管理する「物流管理統括者」を選定して、取組みの責任者として必要な交渉や調整を行う役割を持たせます。そして作業所入場調整管理システムの導入やパレットの活用なども盛り込む方針です。

一方、国土交通省は、貨物軽自動車運送事業の死亡・重傷事故件数が近年増加傾向にあることから、運行管理者の選任、事故の報告など、運行管理に関わる内容について、一般貨物自動車運送事業と同様に義務付けを行う方針です。

(引用・詳細「労新・安全スタツ」24・02・15)

# 海外の事故・災害から

## …2024年1月…

- ▼韓国 江原道 LPガススタンドで大量のガス漏れ。住民が避難をし始めてから爆発。建物9軒全焼。負傷16人。
- ▼アメリカ オレゴン州 旅客機が空港から離陸直後に非常ドアが吹き飛び住宅の庭に落下。機内の気圧が急低下し緊急着陸。
- ▼アメリカ テキサス州 市街地のホテルでガス爆発。外壁や窓など吹き飛ば。負傷21人。
- ▼韓国 京畿道 危険物質保管倉庫の火災で有害物質の一部が河川に流入し、74km汚染。
- ▼中国 河南省 炭鉱で爆発事故が発生。死者8人、15人が行方不明。
- ▼コロンビア チョコ 大雨による土砂崩れ。土砂の塊が冠水した道路を走る車を直撃。死者不明34人。
- ▼アメリカ ニューヨーク、イリノイ州、オレゴン州など広範囲で厳しい寒波。交通網が混乱、切れた送電線で感電、凍死など発生。死者不明95人。
- ▼タイ スパンブリー 花火工場で爆発。ほぼ跡形なく吹き飛び、死者不明23人、負傷6人。
- ▼インド グジャラート 遠足の生徒らが乗る遊覧船が定員オーバーで転覆。死者不明16人。
- ▼中国 江蘇省 金属工場で粉じん爆発。死者8人、負傷8人。
- ▼中国 河南省 小学校と附属幼稚園を併設する完全管理の学校の寮で火災が発生。13人が死亡、負傷1人。
- ▼中国 雲南省 山崩れが発生。大量の土砂が住宅が建ち並ぶ地域に流れ込み、18戸が埋まり200人以上が避難。死者44人。
- ▼中国 新疆ウイグル自治区 M7.1の地震。高山地帯の住宅多数倒壊。死者不明3人、負傷数十人。
- ▼モンゴル ウランバートル 60tの液化天然ガスを詰んだタンクローリーが右折中に乗用車に衝突し、爆発。死者6人、負傷14人。
- ▼中国 江西省 商店などが入る雑居ビルが火災。地下1階の冷蔵倉庫の改装工事の火花が引火。死者39人、負傷9人。
- ▼タイ ラムパン県 走行中のワゴン車が横転し、道路脇の木に衝突。乗っていた9人中、日本人1人が死亡、6人ケガ、うち2人重傷。
- ▼ブラジル サンタカタリナ州 有毒物質のスルホン酸を積んだトラックが横転、炎上。水源の川にスルホン酸が流れ込んだ影響で、市内75%の地区で水の供給が停止。
- ▼韓国 慶尚北道 肉加工工場で火災。死者不明2人、負傷1人。

(資料・引用「災害情報」早稲田大学理工学術院総合研究所編集発行、ほか)